

5 酸性雨モニタリング（土壌・植生）調査（第1報）

予算区分：国補（環境省からの受託）

研究期間：平成13年度

担当科名：森林育成科

担当者名：千木 容

小谷 二郎

．はじめに

東アジア地域は大気汚染等の環境問題を抱えつつ急速に発展しており、越境大気汚染問題である酸性雨等が将来深刻になることが懸念されている。我が国は東アジア酸性雨ネットワークを通じて国際協調に基づく酸性雨対策を推進するとともに、酸性雨の影響を早期に把握するための酸性雨長期モニタリング、酸性雨に関する調査・研究を実施している。

今回の酸性雨モニタリング（土壌・植生）調査では、調査地の選定に当って、感受性が高いとされる赤黄色土を対象に選定し、その対照区として褐色森林土の調査地を選定した。

この事業は、環境省より石川県保健環境センターが、元受託先となり林試が以下の調査項目について分担し実施した。

．調査方法および結果の概要

- 1．調査地：石動山 鹿島町 石動山県有林（褐色森林土）の広葉樹林
宝立山 輪島市 町野県有林（赤色土）の広葉樹林
- 2．調査項目：調査地の選定、概況、土壌断面、林冠写真、毎木、下層植生
衰退度
- 3．試料等の分析：保健環境センターが実施
- 4．調査時期：10月中旬

上記の調査は、平成13年度環境省委託業務結果報告書「酸性雨モニタリング（土壌・植生）」：平成14年3月石川県として取りまとめ、環境省へ提出した。また、当報告書は当场図書となっており詳しい内容については問い合わせ、閲覧等が可能である。